

## 2024年度 受講生募集

転換期の社会に求められる力を培うための  
産学連繋型教育プログラム:



Question-Based Innovation and Career education program for societal transition (キュービック)

“解  
“の  
ない  
時代

「問いを立てる力」と「学び続ける力」を伸ばす

# 『キャリアと実践』



失敗すること、  
考え直すことの  
大切さを学べる場所

終わった後の  
達成感が半端ない

この授業を  
ひとことで  
表現すると!

「キャリアと実践」で得た  
知識・思考法・経験はこれ  
から生きていく上で重要  
なものになります! この  
授業に興味を持つ方の他、  
何か成し遂げたいと思う  
方、何か変わりたいと思う  
方、キャリアというものに  
触れたい方には是非是非お  
勧めします!!

とても大変な期間になると  
思います。しかし、この期間は今  
まで体験したことのないもの  
になり、社会人メンターさんか  
らの言葉はこれから生きてい  
く中でとてもためになります。

先輩受講生からの  
おすすめポイント!

「問う」という  
ことへの入り口

自由と成長

自分で作る  
ジェットコースター

烏兔匆匆

この授業を受講するにはそれなりの  
覚悟があると思います。どのような  
覚悟だとしても、主体的に学んでい  
こうとする姿勢がとても大切です。  
少しでも迷っているのならば、一歩  
踏み出して受講してみてください!  
この授業でしか得られない経験がた  
くさんあります。

成長したいという意欲  
がある人にはもってこ  
いの授業です。きっと  
最後には「楽しかった!」  
と言えるようになります。  
社会に散らばって  
いる問題を自ら手に  
とって考える力を、こ  
こで磨きませんか。

しんどいけど、  
きっと成長できる!

超忙しいけど  
ハイリターン

最後までやり遂げて  
こそこの授業

単位は他の授業でも取れますが、  
この授業でしか得られない学び  
がたくさんあります。



# QBICプログラム 2024年度スケジュール

※実施日程が変更になる場合があります。プログラムの詳細は、大学のシラバス等で確認をしてください。

自らの視点で社会の中の問題を再定義（問題発見）する

他者との学びあいを中心に「問い」を社会に対して実践する

## 01 問いの創出

主な対象：1～2年生

Step-up  
プログラム

科目名

キャリアと実践1

第1回目	10月12日(土) ※
第2回目	11月16日(土) 午後
第3回目	12月26日(木) 午後
第4回目	2月7日(金) 午後
第5回目	2月8日(土) 午前
2月8日(土) 午後 大阪大学との交流プログラム実施	

※=10時30分～17時 午前=9時00分～12時30分 午後=13時～17時30分

## 02 問いの実践

主な対象：2年生

Jump-up  
プログラム

科目名

キャリアと実践2

大阪大学との協働開講、合同チームを形成します。

new!

第1回目	4月20日(土) 全日
第2回目	5月18日(土) 全日
第3回目	6月15日(土) 全日
第4回目	7月13日(土) 全日

全日=9時30分～17時30分



### 授業アンケートより

Q

授業を受けたことで感じる成長を教えてください！

A

チームでの経験を経て、自分には何が得意で何が不得意かがわかった。

A

自分の意見を主張するだけでなく、チームを考えた言動により全体を円滑に回す力が得られた。

A

様々な困難があり、それに対応することを迫られ、乗り越えられた。

Q

授業を終えての満足度は？

A

将来に繋がる知識、考え方、経験が出来、満足している。

A

プロジェクトや意思決定などの練習をすることができて良かった。

A

成長には繋がったけど少し大変過ぎた。

Q

メンターから学んだことを教えてください！

A

物事を抽象的に一般論として分かりやすく説明する重要性。

A

ビジネスで重要にされている考え方や視点。

A

まず何を「優先するか」という考え方。

Q

授業で印象に残っていることは？

A

私たち自身の考えがステレオタイプに囚われていることに気づいたこと。

A

授業に参加した学生の多様性。自分だけだと選ぶことがなかっただろうテーマに取り組む機会を得ることが出来た。

A

様々な視点を持ったメンターの方々から指摘をたくさんもらえ刺激になった。

Q

授業全体の感想は？

A

4回目のワークショップが終わったあとの達成感がとてつもなく大きかった。

A

授業の掲げる理想や自発的な行動に任せる授業スタイルが良かった。

A

本当に大変すぎた授業だったが、ただ席に座って講義を受けているだけでは得られないものを頂けたなと感じた。

A

普段の授業では決して得られない、質の高い問いを立てること、チームで社会問題について本気で考えるとてもよい機会だった。

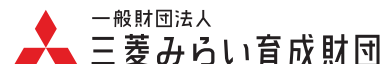
A

自分に何が足りていないとか、何が得意なのかなど、自分自身を知る機会でもあったと感じ、自己成長に繋がった。

※2023年「キャリアと実践1～問いの創出～」(大阪公立大学)の取り組みから

プログラム問い合わせ先

大阪公立大学 国際基幹教育機構/市田(いちだ) h.ichida@omu.ac.jp



本事業は、三菱みらい育成財団 大学・NPO等が行う「21世紀型教養教育プログラム」カテゴリー 4助成事業(2023年度採択)の助成を受けて実施しています。